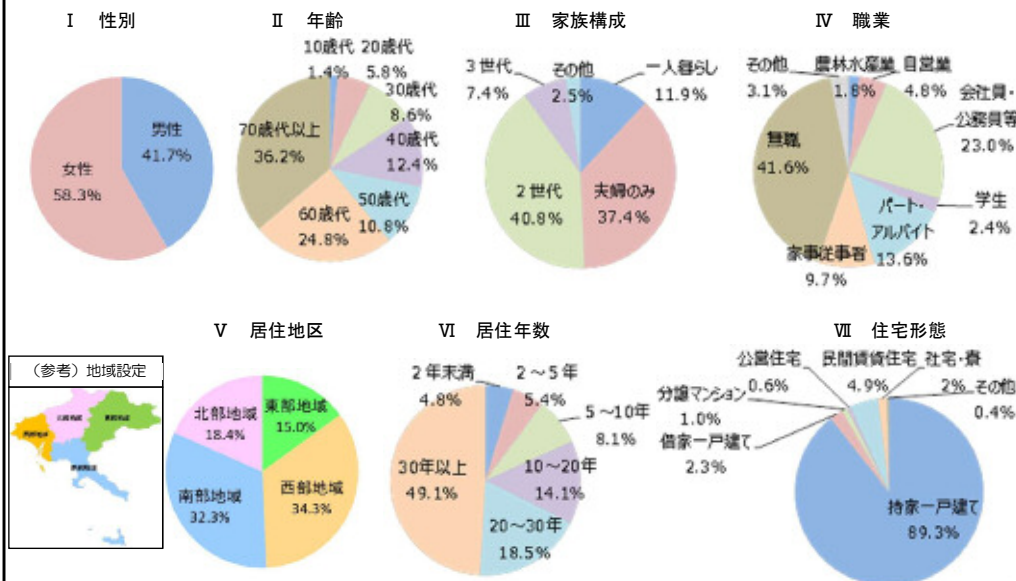


1 調査の概要

目的	市民の日常生活の実態や今後の都市づくりに関する意向等を把握し、本市における今後の都市づくりの参考とすること						
対象者	16歳以上の市民2,000人		調査方式	無記名回答方式			
調査方法	郵送により調査票を配布・回収		調査期間	平成29年8月1日から14日間			
配布数	2,000部	有効配布数	1,994部	回収数	799部	回収率	40.1%
調査項目	回答者の属性		日常の交通手段		居住地区の住みやすさ		
	居住に関する意向		今後の都市づくり		(自由意見・提言)		

2 調査結果の概要

(1) 回答者の属性



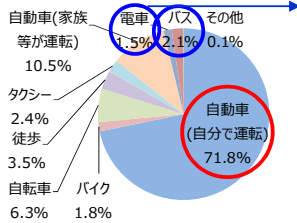
(2) 日常の交通手段

○最も利用する交通手段について

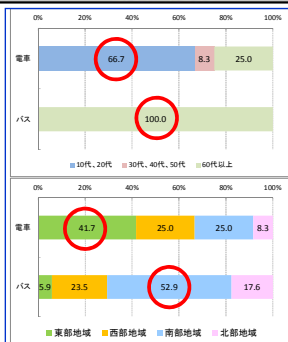
- ・7割以上が自動車（自分で運転）
- ・電車やバス等の公共交通はわずか

○最もよく利用する交通手段が「電車」又は「バス」の方について

- ・電車は10代20代の利用が多い
- ・バスは60代以上のみで南部地域の方が多い



■最もよく利用する交通手段



(3) 居住地区の住みやすさについて

○ニーズ度（重要度と満足度の差）について

- ・次の項目のニーズ度が高い

- 「バスや電車などの公共交通での移動のしやすさ」
- 「病院などの医療施設の利用のしやすさ」
- 「日用品や衣料品などの買物のしやすさ」

【ニーズ度について】

各項目の現在の評価（満足度）と重要度について、「満足」「重要」を5点、「やや満足」「やや重要」を4点、「普通」を3点、「やや不満」「あまり重要でない」を2点、「不満」「重要でない」を1点として数値化し、その差をニーズ度としている

項目	全体		平均値:3.00	平均値:3.75	平均値:0.75
	満足度 (A)	重要度 (B)	ニーズ度 (C=B-A)		
①食料品の買物のしやすさ	3.35	4.20	0.84		
②日用品や衣料品などの買物のしやすさ	2.76	4.01	1.25		
③病院などの医療施設の利用のしやすさ	2.91	4.28	1.37		
④福祉施設の利用のしやすさ	2.84	3.87	1.04		
⑤子育て支援施設の利用のしやすさ	2.89	3.59	0.70		
⑥行政サービスの利用のしやすさ	2.87	3.71	0.85		
⑦コミュニティセンター(旧公民館)の利用のしやすさ	3.06	3.41	0.36		
⑧図書館などの文化教養施設の利用のしやすさ	2.84	3.46	0.62		
⑨公園や広場の利用のしやすさ	2.69	3.39	0.69		
⑩遊戯・娯楽施設の利便さ	2.40	3.22	0.82		
⑪徒歩や自転車での移動のしやすさ	2.70	3.72	1.02		
⑫自動車や自動二輪車での移動のしやすさ	3.21	3.64	0.44		
⑬バスや電車などの公共交通での移動のしやすさ	2.46	3.92	1.46		
⑭日照や静けさなどの住宅環境	3.63	3.78	0.15		
⑮海や山など自然環境	3.82	3.73	-0.09		
⑯美しいまちなみや景観	3.31	3.63	0.31		
⑰防犯上の安全性	3.17	4.01	0.84		
⑱地震や水害などに対する防災上の安全性	2.93	4.14	1.20		
⑲近所づきあい・地域コミュニティ活動	3.16	3.61	0.45		

■調査項目ごとの満足度・重要度及びニーズ度

平均以下 (青) : 平均以下 平均以上 (赤) : 平均以上

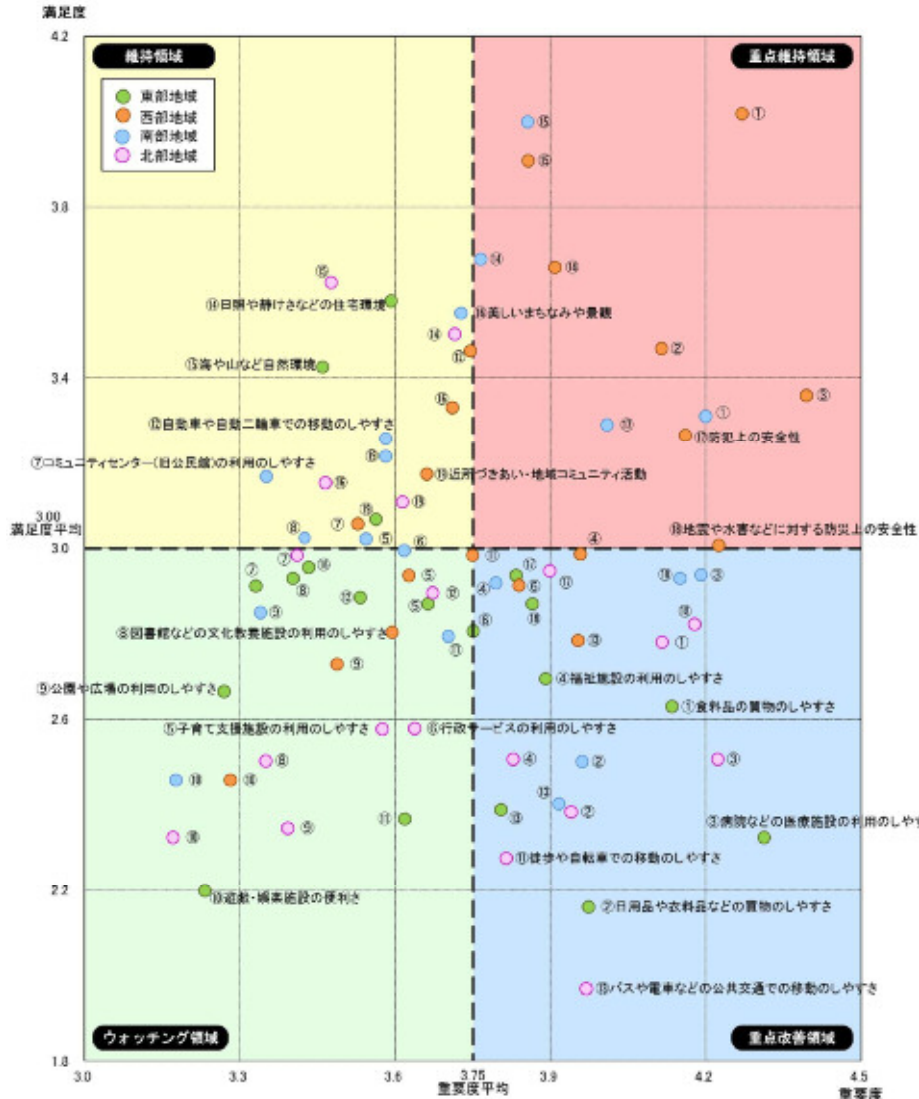
【表記について】

- ・表やグラフの割合「%」は、未記入などの「不明」「非該当」を除いた回答者数に対する割合を示している。
- ・回答者の割合「%」は、小数点以下第2位を四捨五入した数値としており、各回答の合計が100.0%にならないことがある。
- ・複数回答の設問では、未記入などを除いた回答者数に対する割合を示しているため、合計は100.0%を超えることがある。

(3)お住まいの地区について

○地域別の特長について

- 【東部地域】満足度が低い項目が多い。「食料品の買物のしやすさ」なども重点改善領域
- 【西部地域】満足度が高い項目が多い。「行政サービスの利用のしやすさ」などが重点改善領域
- 【南部地域】おおむね市全体の傾向と同様。「地震や水害などに対する防災上の安全性」なども重点改善領域
- 【北部地域】重点改善領域の項目が多い。計8項目が重点改善領域

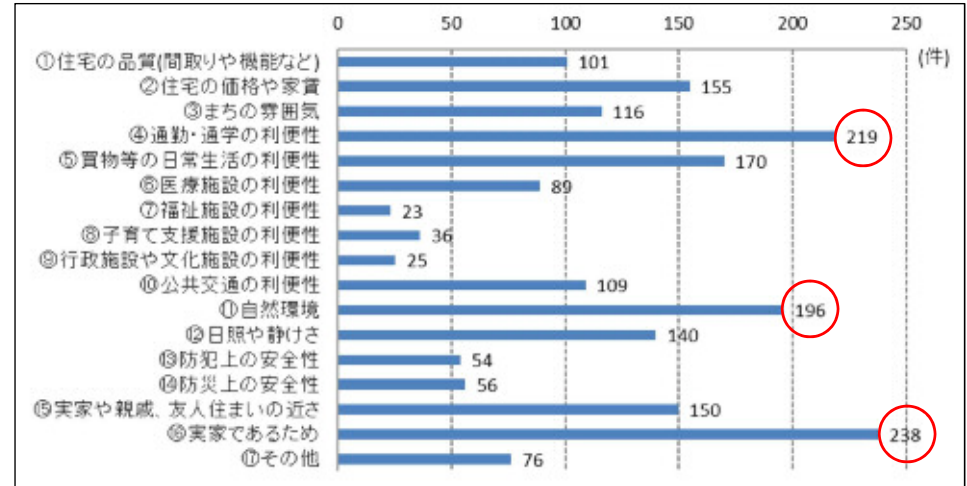


■（地域別）調査項目ごとの満足度・重要度の散佈図

(4)居住に関する意向について

○住まいを決める際に重視したことについて

・「実家であるため」が最も多く、次いで「通勤・通学の利便性」、「自然環境」の順となっている



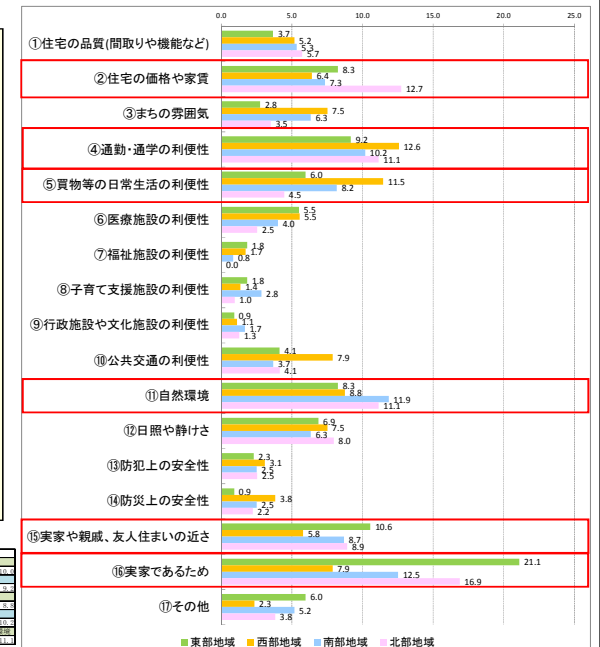
■現在の住まいを決める際に重視したこと

○地区別の、住まいを決める際に重視したことについて

「実家であるため」を除くと、地区ごとに次の項目を重視してお住まいを決められた方が多い

- 【東部地域】
「実家や親戚、友人の住みの近さ」
- 【西部地域】
「通勤・通学の利便性」
「買物等の日常生活の利便性」
- 【南部地域】
「自然環境」
- 【北部地域】
「住宅の価格や家賃」

調査項目	東部地域	西部地域	南部地域	北部地域
①住宅の品質(間取りや機能など)	11.4	11.4	11.4	11.4
②住宅の価格や家賃	11.4	11.4	11.4	11.4
③まちの雰囲気	11.4	11.4	11.4	11.4
④通勤・通学の利便性	11.4	11.4	11.4	11.4
⑤買物等の日常生活の利便性	11.4	11.4	11.4	11.4
⑥医療施設の利便性	11.4	11.4	11.4	11.4
⑦福祉施設の利便性	11.4	11.4	11.4	11.4
⑧子育て支援施設の利便性	11.4	11.4	11.4	11.4
⑨行政施設や文化施設の利便性	11.4	11.4	11.4	11.4
⑩公共交通の利便性	11.4	11.4	11.4	11.4
⑪自然環境	11.4	11.4	11.4	11.4
⑫日照や静けさ	11.4	11.4	11.4	11.4
⑬防犯上の安全性	11.4	11.4	11.4	11.4
⑭防災上の安全性	11.4	11.4	11.4	11.4
⑮実家や親戚、友人住みの近さ	11.4	11.4	11.4	11.4
⑯実家であるため	11.4	11.4	11.4	11.4
⑰その他	11.4	11.4	11.4	11.4



■（地域別）現在の住まいを決める際に重視したこと

(4) 居住に関する意向について

○永住意向について

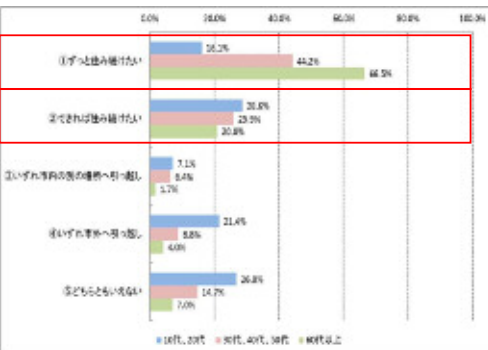
- ・ 今後も現在の住まいに住み続けたい（「ずっと住み続けたい」＋「できれば住み続けたい」と考えている人の割合が多い
- ・ **南部地域において、引っ越したい**（「いずれ市内の別の場所に引っ越したい」＋「いずれ市外に引っ越したい」と考えている人の割合が相対的に高い
- ・ **10代、20代で約2割の方が、「いずれ市外へ引っ越したい」と考えている**

○住み続けたい理由・要因

- ・ 「**地域に愛着やなじみがあるから**」が最も多く、次いで「**緑や自然環境が豊かな**」、「**自家用車で移動がしやすい**」
- ・ 地域別では、**西部地域は買物が便利、自家用車で移動がしやすい、他の地域は治安がよい**との回答が多い
- ・ 年齢別では、**10代20代では「通勤・通学が便利」との回答も割合も多い**

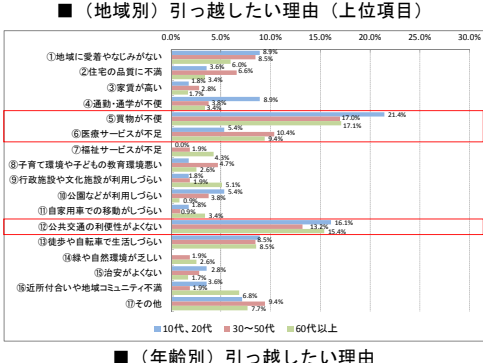
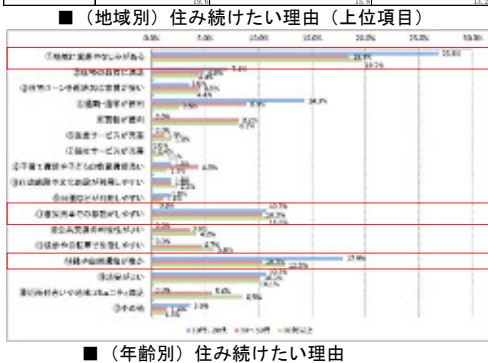
○引っ越したい理由・要因

- ・ 「**買物が不便**」が最も多く、次いで「**公共交通の利便性がよくない**」、「**医療サービスが不足**」
- ・ 地域別では、**東部地域や北部地域で「医療サービスが不足」と感じている人の割合が相対的に高い**
- ・ 年齢別では、**10代20代は「買物が不便」の割合が最も高く、また「医療サービスが不足」と感じている人の割合は30代以上で高い**



属性	第1位	第2位	第3位
全体	地域に愛着やなじみがあるから	地域での生活が便利だから	自家用車で移動がしやすいから
東部地域	地域に愛着やなじみがあるから	地域での生活が便利だから	自家用車で移動がしやすいから
西部地域	買物が便利だから	自家用車で移動がしやすいから	緑や自然環境が豊かなから
南部地域	地域に愛着やなじみがあるから	自家用車で移動がしやすいから	緑や自然環境が豊かなから
北部地域	地域に愛着やなじみがあるから	自家用車で移動がしやすいから	緑や自然環境が豊かなから

属性	第1位	第2位	第3位
全体	買物が不便	公共交通の利便性がよくない	医療サービスが不足
東部地域	買物が不便	公共交通の利便性がよくない	医療サービスが不足
西部地域	買物が不便	公共交通の利便性がよくない	医療サービスが不足
南部地域	買物が不便	公共交通の利便性がよくない	医療サービスが不足
北部地域	買物が不便	公共交通の利便性がよくない	医療サービスが不足

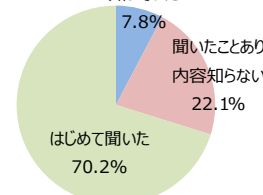


(5) 光市の今後の都市づくりについて

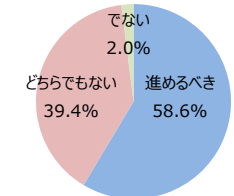
○「コンパクト・プラス・ネットワーク」について

- ・ 認知度は低い
- ・ 「コンパクト・プラス・ネットワーク」の推進について、**約59%の方が進めるべき、約2%の方が進めるべきでない**と回答
- ・ コンパクトなまちが実現した場合の将来的な居住意向について、「**中心拠点へアクセスが容易な地域**」が最も多く、次いで「**駅周辺などの中心拠点**」と利便性の良い地域が9割程度

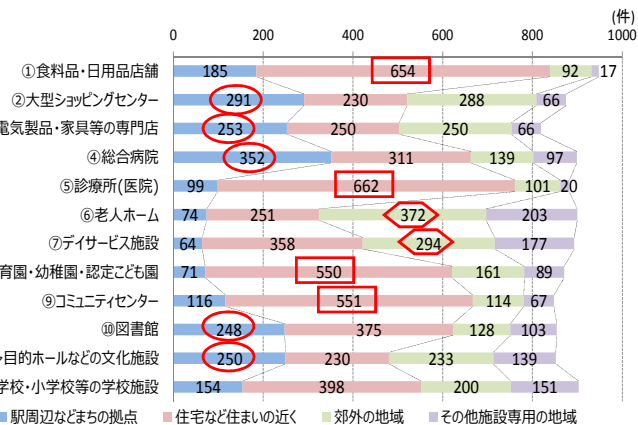
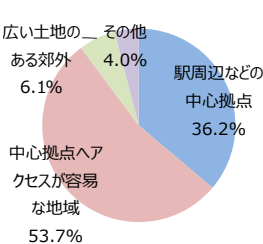
■「コンパクト・プラス・ネットワーク」の認知度



■「コンパクト・プラス・ネットワーク」の推進



■将来的な居住意向



○生活サービス施設の配置について

- ・ **住宅など住まいの近くへの立地が望まれる施設が多く、特に診療所や食料品等の商業施設、コミュニティセンター、保育園等を配置すべきとの意見が多い**
- ・ まちの拠点には、**総合病院や商業施設、図書館・文化施設**を配置すべきとの意見が相対的に多い
- ・ 郊外には、**老人ホームやデイサービス施設などの福祉施設**を配置すべきとの意見が相対的に多い

【自由意見の内訳(分類)】

分類	件数	割合(%)
医療・福祉	30	8.8
教育	9	2.6
協働・行財政	34	9.9
産業・雇用	53	15.5
生活環境	62	18.1
都市基盤	136	39.8
その他	18	5.3
合計	342	100.0

都市基盤	件数	割合(%)
空家・土地の有効活用	19	14.0
市街地の整備	30	22.1
住宅施策の推進	3	2.2
道路・交通網の充実・改善	61	44.9
防災環境の確保	4	2.9
遊戯施設の充実	13	9.6
その他	6	4.4
合計	136	100.0